

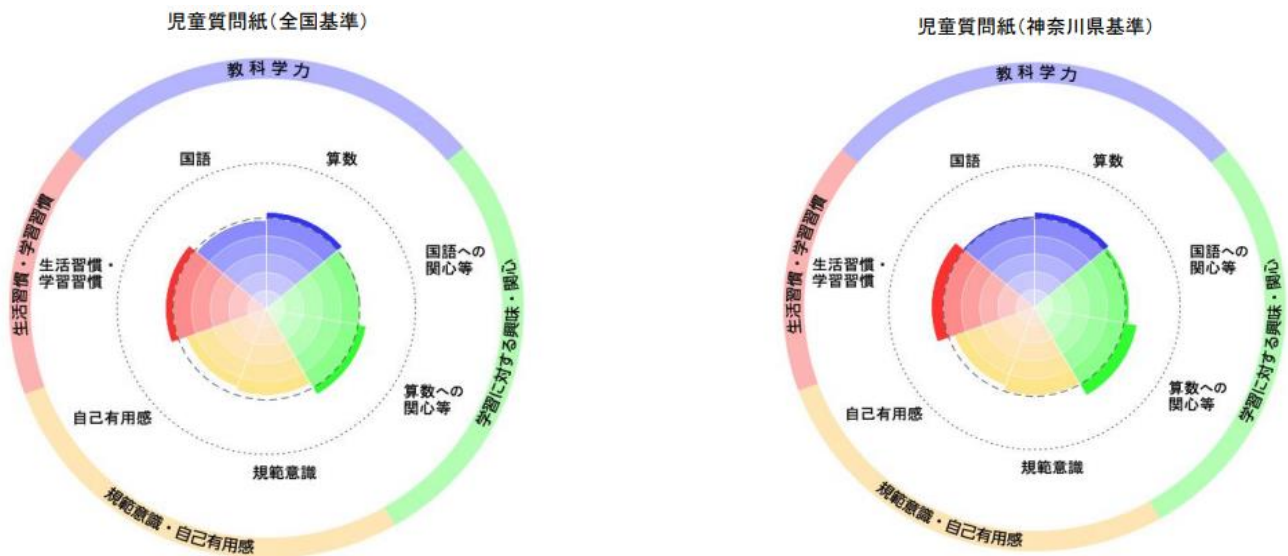
# 令和五年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に行われました「全国学力・学習状況調査」の結果についてご報告します。6年生の保護者の方には児童を通して、個人票で結果をお知らせしています。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。この調査に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力を伸ばすことができるよう引き続き取り組んでまいります。

## 令和五年度全国学力・学習状況調査 全国学力・学習状況調査結果チャート 横浜市立いぶき野小学校

小学校調査



学力については、神奈川県基準と比較しますと、算数については平均をやや上回っています。算数への関心も高く、そこが結果に結びついていると考えられます。国語については、神奈川県基準では平均と同じくらいとなっていますが、全国基準と比較しますと、平均をやや下回る結果になっています。

生活習慣、学習習慣については全国平均を上回っています。

### ○今後の指導の方向性について

国語については「書くこと」及び「情報の扱い方に関する事項」の力が弱いことが分かりました。相手意識や目的意識をもつことで「書くこと」への意欲を高めていきます。「情報の扱い方に関する事項」では、目的や必要性のある課題を、計画された学習環境のもとで取り組むことで、「情報の扱い方」に関する資質・能力を育てていきます。

また「自己有用感」の項目が平均を下回っていることも気になります。子どもが活躍できる場を設定し、子ども同士が認め合う雰囲気をつくっていきます。教師も子どもが輝く姿を見逃さず、認めたり褒めたりすることで、子どもたちの自己有用感を高めていきたいと思います。

子どもたちが、安心してのびのび学習したり、自分に自信をもち、夢や目標をもって生活したりできるよう、学校全体で、指導・支援していきます。今後とも、ご理解ご協力、よろしくお願いいたします。